

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
簿記Ⅰ BookkeepingⅠ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	実験実習	選択	(上級ビジネス実務士/ビジネス実務士選択必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、簿記Ⅰ、会計学Ⅰ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、商法				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、商法				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12：10～13：00		授業中に指示します
授業の概要				
本講座では初めて簿記を学習する人を対象として、複式簿記の基本的用語をはじめ取引の八要素、損益計算・財産計算、更に、期中の取引として商品売買取引、現金取引、当座預金取引などの仕訳と元帳の転記を学ぶ。また本授業は日商簿記3級の範囲の前半部分を学習する。検定受験を希望する場合には相談の上、別途指導する。授業の進捗に合わせ補習をする。				
授業の目標				
①経済社会における簿記の役割を理解して、自己のキャリア形成を考える上での知識を習得できるようにする。 ②損益計算と財産計算処理の知識・技術を習得できるようにする。 ③期中における各種取引の簿記上の処理できるようにする。				
授業の方法				
演習方式である。教科書と問題集にそって、計算や帳簿の記帳が中心となる。学生同士が学び合いながら授業を進める。				
学習の成果（学習成果）				
複式簿記の原理に基づいた簡単な損益計算と財産計算ができる。さらに、期中の取引（商品・現金・当座預金・手形）の仕分・転記ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	簿記の基礎①(簿記とは、会計期間、簿記の目的、簿記の種類)			
第3回目	簿記の基礎②(簿記の5要素と財務諸表)			
第4回目	期中の手続き①(簿記上の取引、勘定、仕訳)			
第5回目	期中の手続き②（勘定の締切、いろいろな帳簿、試算表の作成）			
第6回目	商品売買取引①(三分法による処理、掛けによる売買)			

第7回目	商品売買取引②(返品・値引き、諸掛り)
第8回目	商品売買取引③(商品有高帳) 小テスト
第9回目	現金取引(簿記上の現金、現金の受け払い、現金過不足の処理)
第10回目	当座預金取引①(当座預金とは、当座預金の受け払い、当座貸越)
第11回目	当座預金取引②(当座貸越)
第12回目	小口現金の処理(インプレスト・システム、小口現金出納帳)
第13回目	手形取引①(約束手形と為替手形)
第14回目	手形取引②(約束手形と為替手形)
第15回目	手形取引③(手形の裏書、手形の割引き帳)
事前・事後学習	講義で学習した内容は、問題集で必ず復習すること。
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	10% 前回学習した範囲を、問題集を用いて復習した上で講義に参加し、分からない点に関しては積極的に質問すること。授業態度も真面目で、常に意欲を持って講義に参加すること。
レポート	
調査報告書	
小テスト	30% 出題された計算問題を80%以上正解すること。
試験	60% 出題された計算問題を80%以上正解すること。
発表内容(態度含む)	
その他	
教科書と参考図書	
教科書：TAX簿記検定講座『合格テキスト日商簿記3級』TAX出版 問題集：TAX簿記検定講座『合格トレーニング日商簿記3級』TAX出版	
履修上の留意点・ルール	
私語を禁止する。欠席したときには欠席届を提出すること。	